

**製品名: LRP1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21535**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:85kD;Observed MW:85kD

**抗原情報**

遺伝子名	LRP1
別名	LRP1;A2MR;APR;Prolow-density lipoprotein receptor-related protein 1;LRP-1;Alpha-2-macroglobulin receptor;A2MR;Apolipoprotein E receptor;APOER;CD antigen CD91
遺伝子 ID	4035.0
SwissProt ID	Q07954
免疫原	ヒト LRP1 の合成ペプチド

**背景**

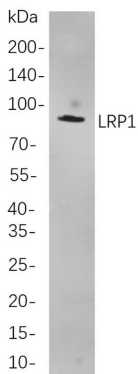
細胞局在: 膜性。この遺伝子は、低密度リポタンパク質受容体ファミリーに属するタンパク質をコードする。コードされているプレ

プロタンパク質は、フーリンによってタンパク質分解され、成熟受容体（PMID: 8546712）を形成する 515 kDa および 85 kDa のサブユニットを生成する。この受容体は、細胞内シグナル伝達、脂質恒常性維持、アポトーシス細胞の除去など、いくつかの細胞プロセスに関与している。さらに、コードされているタンパク質は、分泌型アミロイド前駆体タンパク質およびアルツハイマー病患者にみられるアミロイドプラークの主成分である  $\beta$  アミロイドの、 $\alpha 2$  マクログロブリンを介した除去に必須である。この遺伝子の発現は加齢とともに低下し、アルツハイマー病患者の脳組織では対照群よりも低いことが分かっている。[RefSeq 提供、2015 年 10 月]

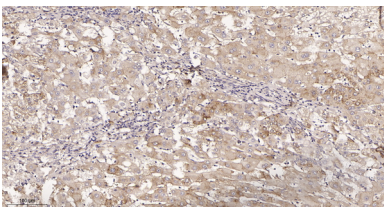
## 研究分野

-

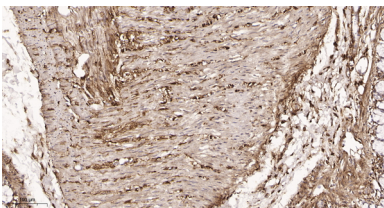
## 画像データ



A549 細胞のライセートのウェスタンブロット解析（LRP1 ウサギ mAb を使用）。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。



パラフィン包埋ヒト肝組織の免疫組織化学分析。1、LRP1 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈（4°C、一晚）。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた（>98°C、20 分）。3、二次抗体を 1:200 に希釈（室温、30 分）。



パラフィン包埋ラット結腸組織の免疫組織化学分析。1、LRP1 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈した（4°C、一晚）。2、抗体の回復には EDTA pH 9.0 を使用した（>98°C、20 分）。3、二次抗体を 1:200 に希釈した（室温、30 分）。